# 高円宮杯 JFA 第 38 回全日本 U-15 サッカー選手権大会東北大会　実施要項

**1 主旨**　公益財団法人日本サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担うユース（15 歳以下）少年達のサッカー技術向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、第 3 種年代の加盟チーム全てが参加できる大会として、本大会を実施する。

**2 名称**　高円宮杯 JFA 第 38 回全日本 U-15 サッカー選手権大会東北大会

**3 主催**　公益財団法人日本サッカー協会
一般社団法人東北サッカー協会

**4 主管**　一般社団法人秋田県サッカー協会　公益社団法人岩手県サッカー協会
特定非営利活動法人山形県サッカー協会　一般財団法人福島県サッカー協会
一般社団法人宮城県サッカー協会

**5 後援**　青森県教育委員会　岩手県教育委員会　宮城県教育委員会　秋田県教育委員会
山形県　福島県　東北中学校体育連盟　遠野市

**6 協賛**　株式会社モルテン

**7 期日**　2026 年 10 月 24 日(土)～10 月 25 日(日)、10 月 31 日(土)～11 月 7 日（土）

**8 会場**

| | | |
|---|---|---|
| 青森県：10 月 24 日(土)、10 月 25 日(日) | 十和田市高森山、東奥義塾高校 | 1・2 回戦 |
| 山形県：10 月 24 日(土)、10 月 25 日(日) | 山形市球技場 | 1・2 回戦 |
| 岩手県：10 月 24 日(土)、10 月 25 日(日) | 遠野市民サッカー場 | 1・2 回戦 |
| 福島県：10 月 24 日(土)、10 月 25 日(日) | 十六沼公園サッカー場 | 1・2 回戦 |
| 宮城県：10 月 31 日(土)、11 月 1 日（日） | 奥松島運動公園、めぐみ野サッカー場 | 3 回戦・準決勝 |
| 宮城県：11 月 7 日(土) | 石巻フットボール場 | 決勝 |

**9 参加資格**

(1) 公益財団法人日本サッカー協会（以下、JFA という）に第 3 種または女子登録した加盟チームもしくは準加盟チームであること。

(2) ① 上記(1)のチームに 2026 年 8 月 31 日までに登録された選手であること。ただし、一家転住等の理由により上記期限以降に移籍または追加登録した選手が大会参加を希望する場合、当該都道府県サッカー協会第 3 種委員長及び当該地域担当の第 3 種大会部会員が別途了承した場合に限り、大会参加を認める。

② 本大会に出場する選手は、都道府県大会プレーオフ・地域大会プレーオフを通して、他のチームで出場していないこと(U-15 リーグは除く)。

③ 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、JFA の女子加盟チーム登録選手を、移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。

④ JFA により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内のチーム間であれば移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第 4 種年代のみとし、第 3 種及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。

⑤ 選手が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認める。尚、11 名以上の選手を有するチーム同士の合同チームに関しては、全国中学校体育大会複数合同チーム参加規定に則る。

- □ 合同するチーム及びその選手は、それぞれ(1)及び(2)①を満たしていること。
- □ 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
- □ 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
- □ 合同チームとしての参加を当該都道府県サッカー協会第 3 種委員長が別途了承すること。

**10 参加チーム及びその数**

参加チーム数は次の(1)から(3)により選出された最大 27 チームとする。

(1)東北 U-15 みちのくトップリーグ 9 チーム（優勝チームは除く）と、みちのくチャレンジ北リーグ 6 チーム、みちのくチャレンジ南リーグ 6 チームの計 21 チーム。

(2)東北各県サッカー協会により推薦または選出された 6 チーム。

(3)1 登録 1 チームで複数チームの参加はできない。

**11 競技方法**

(1) みちのくリーグの 21 チーム及び東北各県から推薦された 6 チームによるノックアウト方式

(2) 試合時間：80 分（前・後半 40 分）。

(3) ハーフタイムのインターバル：原則として 10 分（前半終了から後半開始まで）。

(4) 試合の勝者を決定する方法（80 分で勝敗が決しない場合）

① 1回戦～準決勝：勝敗が決しない場合はPK方式により次回戦進出チームを決定する。

② 決勝：20 分（前・後半 10 分、インターバルなし）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により東北地域第 2 代表チームを決定する。

③ 延長戦に入る前のインターバル：5 分。

④ PK方式に入る前のインターバル：1 分。

**12 競技規則**

(1) JFA「サッカー競技規則 2026/2027」による。

(2) 大会参加申込した最大 30 名の選手のうち、各試合の登録選手は最大 20 名とする。

(3) 交代に関しては、競技開始前に登録した最大 9 名の交代要員の中から最大 5 名までの交代が認められる。80 分間の交代回数は、各チーム最大3回とする（1回に複数人を交代することは可能）。ただし、ハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる（直前の 80 分間と合わせて最大 6 名 4 回の交代が可能となる）。延長戦開始前および延長戦のハーフタイムは、回数に含まれない。

(4)脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。

a. 脳震盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳震盪交代」という）は、通常交代に含まれない。

b. 脳震盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。

c. 脳震盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳震盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。

d. 脳震盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1回1名の交代を追加で得ることができる（以下、本号に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。

e. 1試合における各チームの脳震盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。

(5) ベンチ入りできる人員は最大 14 名（役員 5 名以内、選手 9 名以内）とする。

(6) 本大会において退場を命じられた選手は次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については、21(3)に定める本大会規律・フェアプレー委員会において決定する。

(7) 本大会期間中に警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。

(8) 1回戦～準々決勝における警告処分は、準決勝へは持ち越さないものとする。
ただし準々決勝における出場停止処分が未消化の場合は、準決勝に持ち越され適用される。
例）準々決勝に累積 2 枚目の警告を受けた選手は、準決勝には出場できない。

(9) テクニカルエリア：設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ 1 人の役員が伝えることができる。

(10) 第 4 審判員：任命する。

(11) アディショナルタイムの 表示：実施する。

(12) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：2 名以内。

(13) 本大会はキャプテンオンリーを適用し、「キャプテンオンリー」ガイドに則り実施する。

**13 参加申込**

(1) 参加申込し得る人員は、各チーム役員 5 名・選手 30 名を最大とする。

(2) 申込締切日：2026 年 10 月 8 日（木）

(3) 申込方法：参加チームは、KICKOFF より申し込みとする。

(4) 上記(2)の申込締め切り以降の申込内容の変更は認めない。

**14 参加料** **40,000 円**

10/8(木)までに指定の口座に振り込むこと。

**15 ユニフォーム**

(1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームでエントリーし、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。
(2) シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
(3) シャツの前面・背面に参加申込時に登録した選手番号をつけること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
(4) 選手番号については 1 から 99 まで選手固有番号とする。
(5) ユニフォームの色、選手番号については、参加申込締切日以後の変更は認めない。
(6) ユニフォームへの広告表示については JFA「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし公益財団法人中学校体育連盟加盟チームは連盟規定によりこれを認めない。
(7) ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープの色はソックスの色と同じものに限る。
(8) キャプテンアームバンド:JFA によって認められたアームバンドのみ着用が認められ、本協会によって認められたアームバンドを着用する場合は JFA ユニフォーム規定に準拠すること。
(9) その他の事項については JFA「ユニフォーム規程」に則る。

**16 表彰**

(1)みちのくトップリーグ優勝のチームを第 1 代表とする。本大会決勝戦の勝者を第 2 代表とする。
(2)第 1 代表、第 2 代表のチームは、2026 年 12 月に行われる高円宮杯 JFA 第 38 回全日本 U-15 サッカー選手権大会出場の権利と義務を有する。
(3)優勝、準優勝、第 3 位チームには賞状を授与する

**17 交通・宿泊**

(1) 移動に伴う交通費については、各チームで負担する。
(2) 宿泊が必要な場合は、各チームにて手配・負担する。

**18 マッチコーディネーションミーティング**

各試合競技開始時間の 90 分前にマッチコーディネーションミーティングを開催する。
マッチコーディネーションミーティングにおいて、メンバー用紙の回収(3 枚)、着用するユニフォームの決定、諸注意事項の説明等を行う。 参加者は、両チーム代表、審判員 4 名、競技責任者とする。

**19 傷害補償**

(1) 参加チームは必ずスポーツ安全保険に加入していること。
(2) 試合会場では応急処置のみ主催者(主管サッカー協会を含む)の責任とする。

**20 組合せ** 一般社団法人東北サッカー協会 3 種委員会にて抽選を行う。

**21 その他**

(1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
(2) 各試合の登録選手は、選手証を試合会場に持参すること。
不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。
(3) 本大会の規律・フェアプレー委員長は東北協会規律・裁定委員長とする。
規律・フェアプレー委員会の委員人選については委員長に一任する。
(4) 試合前アップについて天然芝の場合は試合前の時間制限を設ける場合があるが、人工芝ピッチの場合はこの限りでなくアップにおいても使用を認める。会場責任者の指示に従うこと。
(5) 地震などの災害時には利用施設の災害対応マニュアルに従い避難すること。
雷雨時の対応については, JFA のサッカー活動中の落雷事故防止対策についての指導を基に、主催者において決定する。雷による試合中断の目安は 60 分程度とする。
雷雨等により試合続行不可能な場合は、別紙に定める方法で勝者を決定する。ただし、前半終了以降の場合は、その時点でのスコアをもって試合成立とする。
(6) 大会要項に規定されていない事項については大会実行委員会において協議の上決定する。

**22 問合せ** 一般社団法人東北サッカー協会 022-220-0803